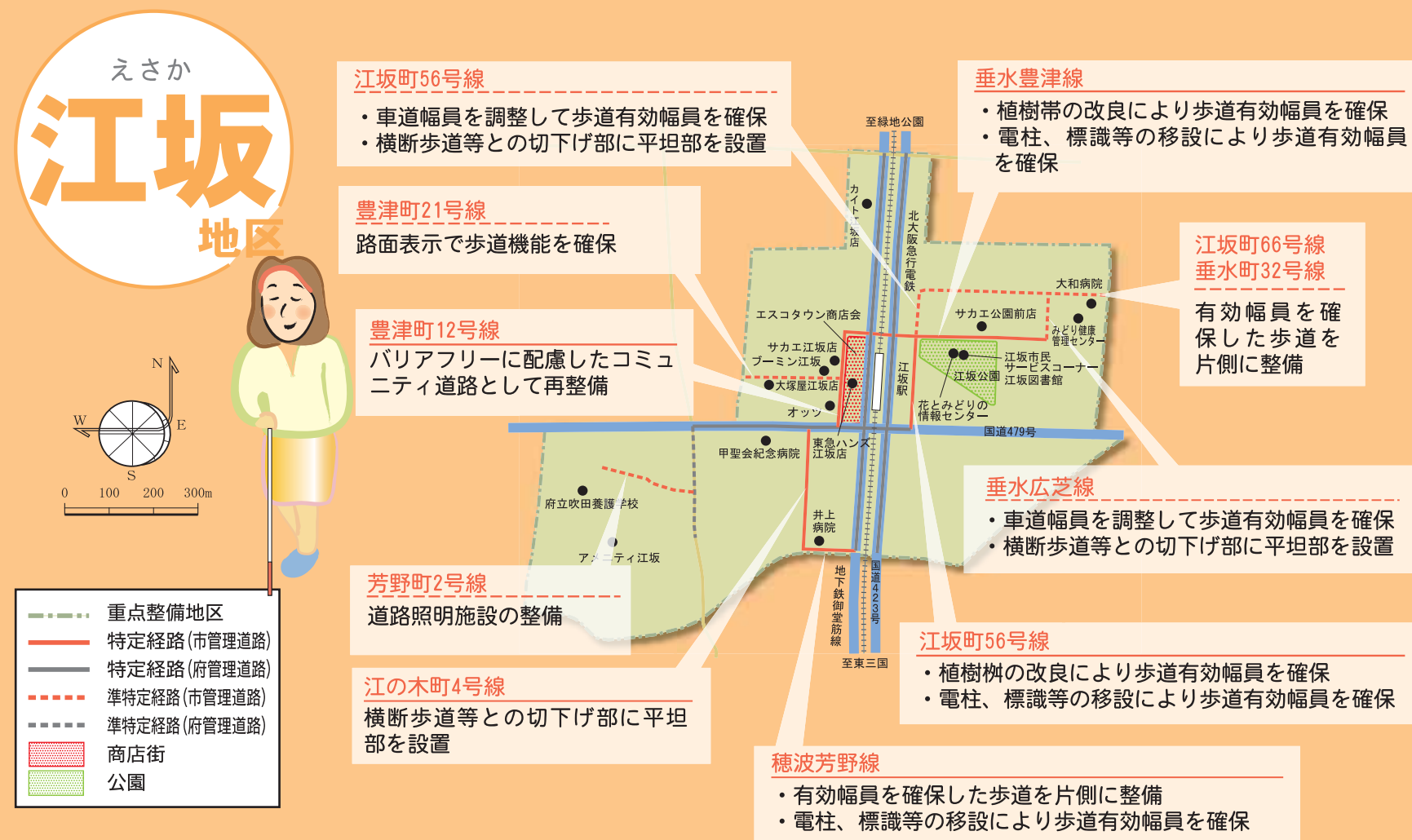


各地区の 道路特定事業計画（江坂、山田、吹田・豊津地区）

今年度は、江坂、山田、吹田・豊津の3地区6駅で、市道の道路特定事業計画を作成しました。
平成22年(2010年)度整備完了をめざし、だれもが安全で安心して移動できるよう事業実施を進めていきます。



●特徴的な課題

江坂地区では、江坂駅周辺の歩道が不法占用物(迷惑駐輪、看板等)によって狭くなり、大きなバリアとなっているのが特徴的な課題です。特に、豊津町12号線(エスコタウン)の放置自転車問題が大きな課題と言えます。

●特徴的な課題の整備方針

エスコタウンは、バリアフリー化を図るため、歩行者・自転車・自動車が共存できるコミュニティ道路として再整備を行います。

放置自転車対策としては、買い物目的と通勤・通学目的に分け、それぞれの自転車駐車場を整備します。

なお、エスコタウン内の買い物目的用自転車置場の管理や運営等については、今後引き続き周辺企業や商店会の方々と協議、検討を進めていきます。

あわせて、自転車駐車場整備後には、放置自転車撤去の徹底や自転車駐車場への誘導、現在行っているレンタサイクルのPR及び拡充等のソフト施策を実施し、効果的なバリアフリー化整備を進めていきます。



▲現況イメージ



▲整備イメージ



●特徴的な課題

山田地区では、丘陵地に位置するため、歩道の縦断勾配が急なことが大きなバリアとなっているのが特徴的な課題です。特に、津雲中央線については、基準の特例値である8%近い勾配が連続している箇所があり、大きな課題と言えます。

●特徴的な課題の整備方針

津雲中央線については、既設の歩道の縦断勾配を緩くすることが難しいため、休憩施設の設置を行います。



▲整備前



▲整備後